

A 小中連携教育 (現在の取組)

小学校と中学校が情報交換や交流を行うことを通じて小学校から中学校への円滑な接続を目指す教育。一小一中のよさを生かし、これまでも町として一体的な教育を推進してきた。

B 小中一貫教育 (少子化の進行、各施設の老朽化等から、今後、検討していくべき課題)

小中連携教育のうち、小学校と中学校が「目指す子ども像」を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

小中一貫教育を行う学校には下記のような形態がある。

	小中一貫型小学校・中学校	義務教育学校
修業年限	現行の小中連携と同じ 小6年、中3年	9年(6-3制、4-2-3制など)
組織	それぞれの学校に校長がいる組織上独立した小学校・中学校が一貫した教育を行う	一人の校長、一つの職員組織
教育課程	9年間の教育目標の設定 9年間の系統性・体系性に配慮がなされた教育課程の編成	
施設形態	施設一体型・施設隣接型(隣接する敷地内)・施設分離型(隣接していない敷地)	
所有免許状	所属する学校の免許状	原則として小・中両方が必要

「小中連携」と「小中一貫教育」の関係は下図のようになる。



(ベネッセ教育情報 HP より)